

## 協議事項（3） 東部地区・西部地区支線バスの事業継続について

東部地区支線バス及び西部地区支線バスにおける、令和4年度以降の事業継続について、次の内容で運行を継続してよいか、協議・承認いただきたい。

路線名	東部地区支線バス
運行期間	令和4年度から令和7年度までの4年間の運行継続
運行事業者	令和3年12月頃 公募型プロポーザルにより選定予定
継続理由	<p>令和元年10月の運行開始から、地域協議組織において、主体的に利用促進イベントなどを協議し、地域に根付いてきている。他地区の支線バスと接続し、とくに市民病院は他地域からの乗り継ぎ利用もある。利用者数は、コロナ禍の影響もあり増加していないが、地域の高齢者、移動困難者にとって、病院、買物等への欠かせない交通手段となっている。</p> <p>令和3年10月26日 東部地区公共交通協議会として、事業継続を要望することを確認。</p>
運賃	<p>1乗車100円 小学生50円</p> <p>未就学児・障がい者等1人での乗車が困難な方の介助者1名無料</p>
運行日	週3日（火・木・土曜日） ※年始（1/1～1/3）運休
運行本数	1日6.5便
接続する公共交通機関	<p>鉄道（JR東海道線 三河三谷駅）</p> <p>路線バス（市民病院、コパン前、三河三谷駅前）</p>
その他	運行計画の変更なし

## 東部地区支線バス「とがみくるりんバス」運行の事業状況

### ○利用者数

年度	利用者数	1便あたり利用者数
R1 (10月から)	1,210	2.4
R2	1,567	1.6
R3 (9月末時点)	769	1.5

### ○イベント等の取組み

回数券割引販売（運行開始前、地域で半額負担）

出発式（運行開始時）

敬老会にて回数券配付（地域で負担）（一周年記念）

保育園児ぬりえ展示@保育園・東部公民館・アピタ蒲郡店（一周年記念）

公民館だよりでの情報発信（毎月）

### ○運行の改善（停留所の新設）

R3年4月 「スウィングトーク前」追加

### ○収支率

令和元年度 15.5%（回数券割引販売分含む）

令和2年度 7.7%（敬老会での回数券配布分含む）

⇒収支率向上を図るため、車両広告事業、停留所広告事業を実施

### ○満足度

令和2年度に実施した利用者に対しての車内アンケートにおいて、利用目的は「通院のため」が最も多く、市民病院停留所がある路線としての特徴が出ている。また、お出かけが便利になったという意見も多い。

他地区の協議会においても、支線バスを乗り継いで市民病院へ行く話を聞くといった話も出ており、多くの利用者の目的地となる市民病院を運行する東部地区支線バスは、需要も大きい。

これらのことから利用者の満足度は高いと言える。

路線名	西部地区支線バス
運行期間	令和4年度から令和7年度までの4年間の運行継続
運行事業者	令和3年12月頃 公募型プロポーザルにより選定予定
継続理由	<p>令和2年1月の運行開始から、地域協議組織において、主体的にルートの見直しなどを協議し、令和3年1月には交通空白地だった坂本地区にも延伸した。他地区の支線バスと接続し、蒲郡駅など市の中心を運行する当該路線は今後重要性が増していくと考えられる。地域の高齢者、移動困難者にとって、病院、買物等への欠かせない交通手段となっている。</p> <p>令和3年10月15日 西部地区公共交通協議会として、事業継続を要望することを確認。</p>
運賃	<p>1乗車100円 小学生50円</p> <p>未就学児・障がい者等1人での乗車が困難な方の介助者1名無料</p>
運行日	週3日（火・木・土曜日） ※年始（1/1～1/3）運休
運行本数	1日7便
接続する公共交通機関	<p>鉄道（JR 東海道線 蒲郡駅）</p> <p>路線バス（蒲郡駅北口）</p>
その他	運行計画の変更なし

## 西部地区支線バス「みかんの丘ぐるりんバス」運行の事業状況

### ○利用者数

年度	利用者数	1便あたり利用者数
R1（1月から）	257	1.0
R2	874	0.8
R3（9月末時点）	623	1.1

### ○イベント等の取組み

回数券割引販売（運行開始前、地域で半額負担）

出発式（運行開始時）

乗車体験会（公民館行事と同時に実施）

公民館だよりでの情報発信（毎月）

### ○運行の改善（停留所の新設など）

R3年1月 坂本地区まで運行ルートを延伸し、  
「坂本集会場」、「下り郷」追加

### ○収支率

令和元年度 12.6%（回数券割引販売分含む）

令和2年度 5.8%

⇒収支率向上を図るため、車両広告事業、停留所広告事業を実施

### ○満足度

地区協議会にて、延伸した坂本地区の方は、これがあるからまちに出られると喜んでいただいていたという事例が紹介された。

また、令和2年度に実施した利用者に対しての車内アンケートにおいては、市役所や蒲郡駅を通るルートのためか、利用目的として「公共施設利用」「趣味・社交」が他地区と比べて多い。また、お出かけが便利になったという意見とともに、健康増進につながるという意見も見られた。

これらのことから利用者の満足度は高いと言える。